

平成30年度 保健医療学部 推薦入試 小論文 問題用紙
【整復医療学科】

問題（試験時間:60分）

以下の文は「医療者と患者との関係性」における「医療者（柔道整復師）の役割」についての論説をまとめたものである。

この文を読んで次の問題に答えなさい。

患者との関係において医療者（柔道整復師）には、次の義務が生じる。
それは①業績性、②普遍主義、③機能的限定性、④感情中立性、集合体⑤志向である。
最初に示した業績性とは、柔道整復師の専門的能力と技術は、才能を努力と訓練によって達成されたものである。

（『健康と医療の社会学』山崎嘉比古2005.を参考に作成）

解答欄

問1. 下線部（①～⑤）語句の、漢字の読みを答えなさい。

①業績性（ ） ②普遍主義（ ） ③機能（ ）
④感情（ ） ⑤志向（ ）

問2. 本文後半に書かれた、業績性の「才能と努力と訓練」に注目して、あなたの、これまでの生活（スポーツなど）で、柔道整復師に向いているという理由について（才能）、また日体大に入学してからの努力について（努力と訓練）、小論文として答えなさい。

なお、小論文は、「題名」を表記し、600字以上800字以内でまとめてください。